

シリーズ「放課後子ども教室推進事業」 初中教育ニュース（初等中等教育局メールマガジン掲載）

【第43回】

子どもたちが生き生き、のびのびできる場所「甲洋なかよし教室」

青森県上北郡おいらせ町立甲洋小学校長 荒谷 国人

甲洋なかよし教室は、学校の空き教室を活用し、平日は放課後（午後6時まで）、土曜日・長期休業期間中（午前8時から午後6時まで）は一日教室を開設しています。

なかよし教室では、空いている2教室及び体育館・校庭を使って子どもたちが生き生き、のびのびと、自分できちんと物事を考え、自立できるような活動を展開しています。平日の活動は、指導員（安全管理員）や学習アドバイザーが得意な分野を生かしながらスポーツ活動（ボール遊び、バドミントン、なわとびやフラフープ等）や文化活動（折り紙、ものづくりや手芸等）を行って子どもを支援しています。

毎日約50人の子どもたちにかかわる指導員の先生たち（3～4名）は、異年齢集団で様々な子どもがいますので、悪戦苦闘しながら頑張っています。雨が降った日は更に増えて約70人になるので、子どもの安全管理に十分に注意しながら活動しています。土曜日に実施する体験活動では、地域の方々、町職員、退職教員、ボランティアグループ、お寺の住職等、様々な方々が講師役となり子どもたちの活動を支援しています。

なかよし教室のコーディネーターを務めている浜田祐子さんは、地域と密着した体験活動を企画したり、連絡調整したりして熱意ある取組をしています。今年度、4月は「読み聞かせ会」、5月は「カルタと童謡で遊ぼう」、「農業体験、野菜の苗を育てよう」、6月には「バス遠足」、「チャレンジ・ゲームに挑戦」等々、今後も多彩な体験活動が計画されています。

体験活動が行われるときは、生き生き、のびのびと顔を輝かせた取組が見られます。また、みんな集まれ「甲洋なかよし教室」新聞が毎月1回、保護者に発行されています。子ども達の様子や体験活動の紹介を主な記事にしており、保護者からは好評のようです。

（初中教育ニュース（初等中等教育局メールマガジン）第146号に掲載）